



## 全日病 S-QUE 看護師特定行為研修

### ろう孔管理関連

区分別科目



- (A) 胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換  
胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換

岡山済生会総合病院 内科・がん化学療法センター

犬飼 道雄 氏

# OSCE

## 胃ろうカテーテルもしくは 腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの 交換

岡山済生会総合病院 内科・がん化学療法センター  
犬飼道雄

### この講義のポイント

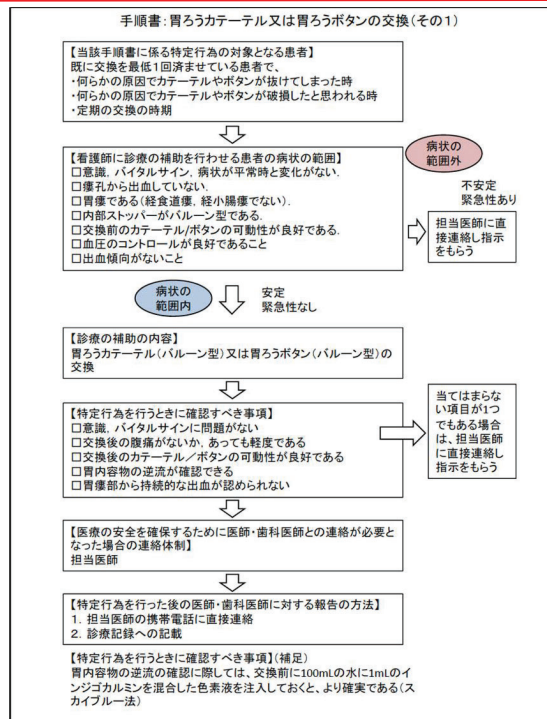
---

- 特定行為手順書のフローチャートに沿って、胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換について確認する。
- 胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換について、架空の症例に対する実技を通して学ぶ。

## この講義のポイント

- 特定行為手順書のフローチャートに沿って、胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換について確認する
- 胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換について、架空の症例に対する実技を通して学ぶ

## 手順書その1を確認



# 手順書その1を確認

手順書: 胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換(その1)

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】

既に交換を最低1回済ませている患者で

- ・何らかの原因でカテーテルやボタンが抜けてしまった時
- ・何らかの原因でカテーテルやボタンが破損したと思われる時
- ・定期の交換の時期



【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】

- 意識, バイタルサイン, 病状が平常時と変化がない.
- 瘻孔から出血していない.
- 胃瘻である(経食道瘻, 経小腸瘻でない).
- 内部ストッパーがバルーン型である.
- 交換前のカテーテル/ボタンの可動性が良好である.
- 血圧のコントロールが良好であること
- 出血傾向がないこと

病状の  
範囲外

不安定  
緊急性あり



担当医師に直  
接連絡し指示  
をもらう

病状の  
範囲内



安定  
緊急性なし

# 手順書その1を確認

手順書: 胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換(その1)

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】

既に交換を最低1回済ませている患者で、

- ・何らかの原因でカテーテルやボタンが抜けてしまった時
- ・何らかの原因でカテーテルやボタンが破損したと思われる時
- ・定期の交換の時期



【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】

- 意識, バイタルサイン, 病状が平常時と変化がない.
- 瘻孔から出血していない.
- 胃瘻である(経食道瘻, 経小腸瘻でない).
- 内部ストッパーがバルーン型である.
- 交換前のカテーテル/ボタンの可動性が良好である.
- 血圧のコントロールが良好であること
- 出血傾向がないこと

病状の  
範囲外

不安定  
緊急性あり



担当医師に直  
接連絡し指示  
をもらう

病状の  
範囲内



安定  
緊急性なし

# 手順書その1を確認

手順書: 胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換(その1)

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】  
既に交換を最低1回済ませている患者で、  
・何らかの原因でカテーテルやボタンが抜けてしまった時  
・何らかの原因でカテーテルやボタンが破損したと思われる時  
・定期の交換の時期



【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】  
 意識、バイタルサイン、病状が平常時と変化がない。  
 瘻孔から出血していない。  
 胃瘻である(経食道瘻、経小腸瘻でない)。  
 内部ストッパーがバルーン型である。  
 交換前のカテーテル/ボタンの可動性が良好である。  
 血圧のコントロールが良好であること  
 出血傾向がないこと

病状の  
範囲外

不安定  
緊急性あり



担当医師に直  
接連絡し指示  
をもらう

病状の  
範囲内



安定  
緊急性なし

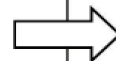
# 手順書その1を確認

【診療の補助の内容】  
胃ろうカテーテル(バルーン型)又は胃ろうボタン(バルーン型)の  
交換



【特定行為を行うときに確認すべき事項】  
 意識、バイタルサインに問題がない  
 交換後の腹痛がないか、あっても軽度である  
 交換後のカテーテル/ボタンの可動性が良好である  
 胃内容物の逆流が確認できる  
 胃瘻部から持続的な出血が認められない

当てはまらない  
項目が1つ  
でもある場合  
は、担当医師  
に直接連絡し  
指示をもらう



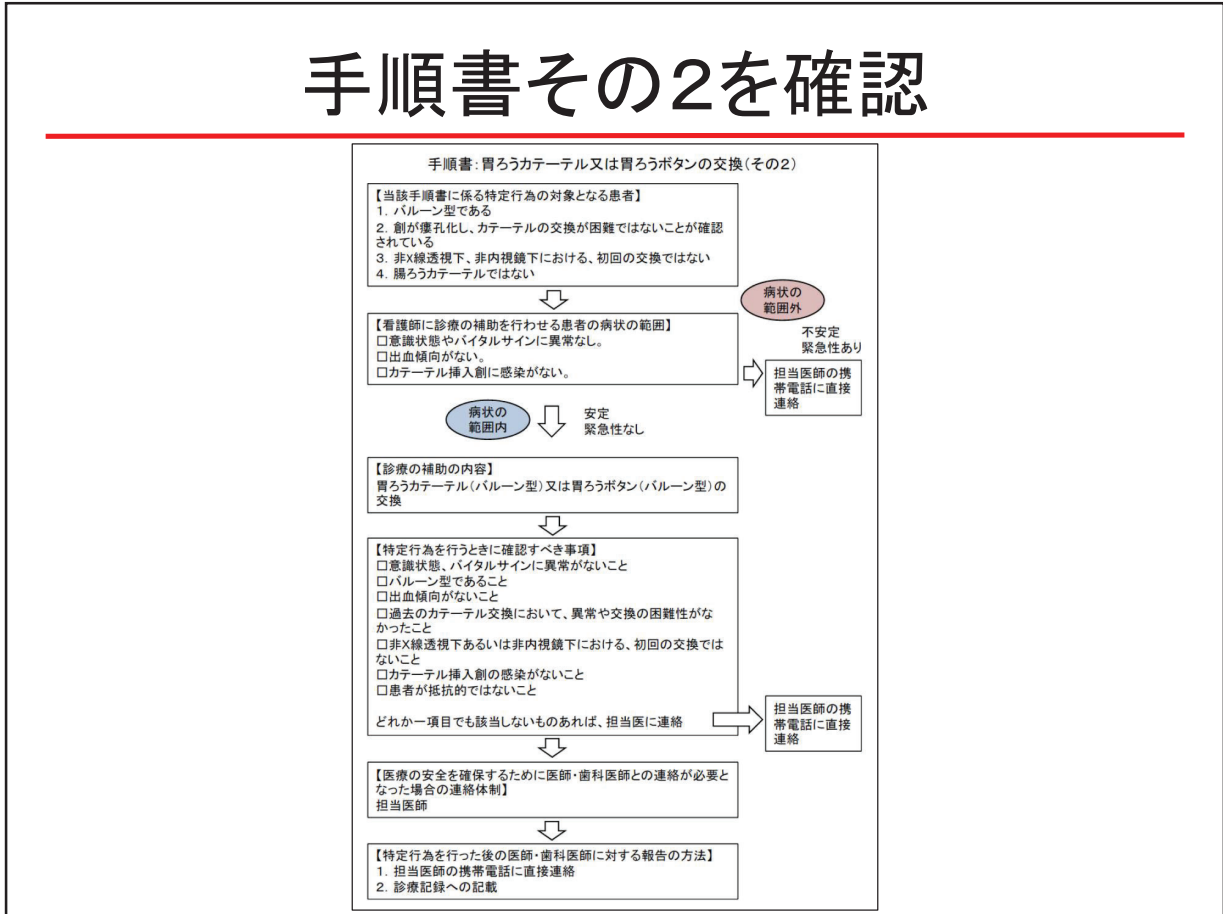
【医療の安全を確保するために医師・歯科医師との連絡が必要と  
なった場合の連絡体制】  
担当医師



【特定行為を行った後の医師・歯科医師に対する報告の方法】  
1. 担当医師の携帯電話に直接連絡  
2. 診療記録への記載

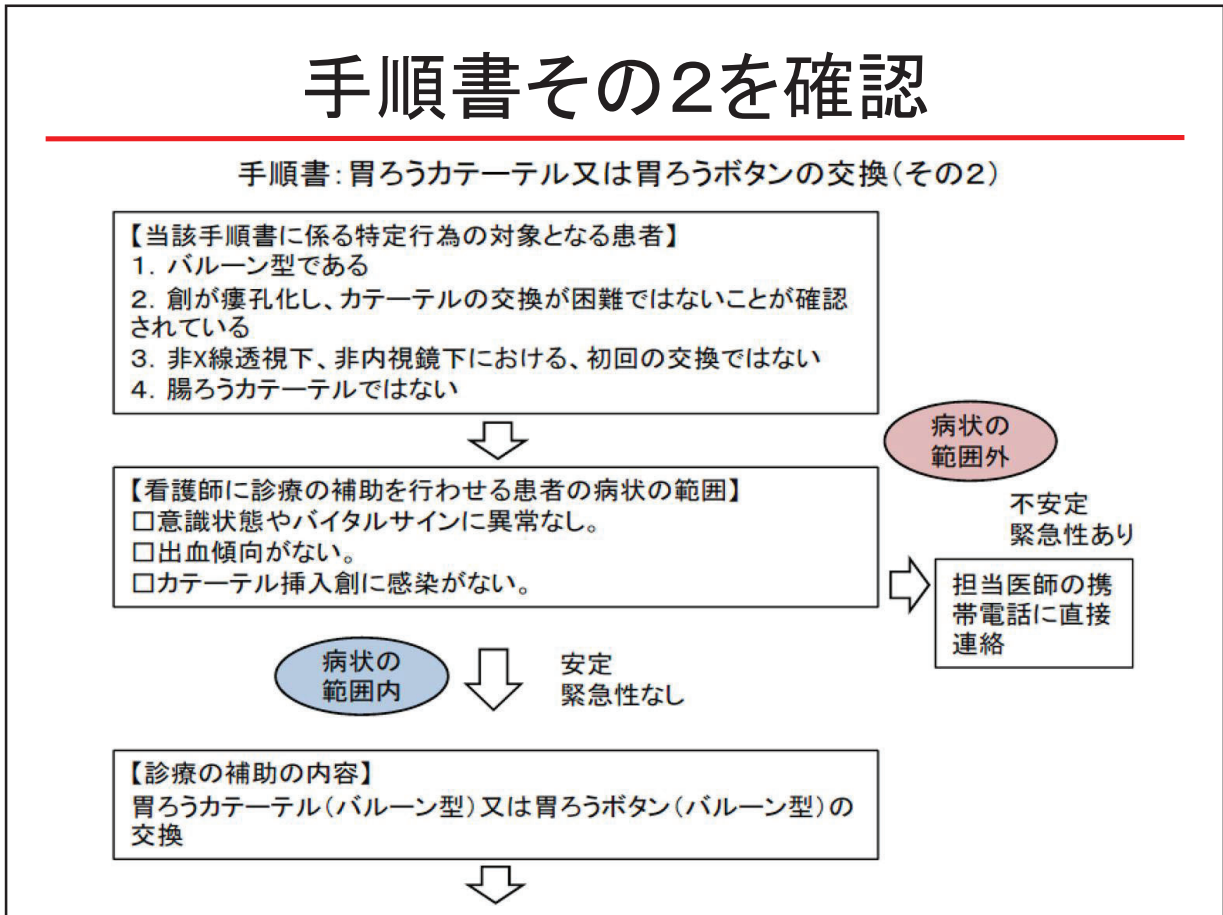
【特定行為を行う時に確認すべき事項】(補足)

# 手順書その2を確認

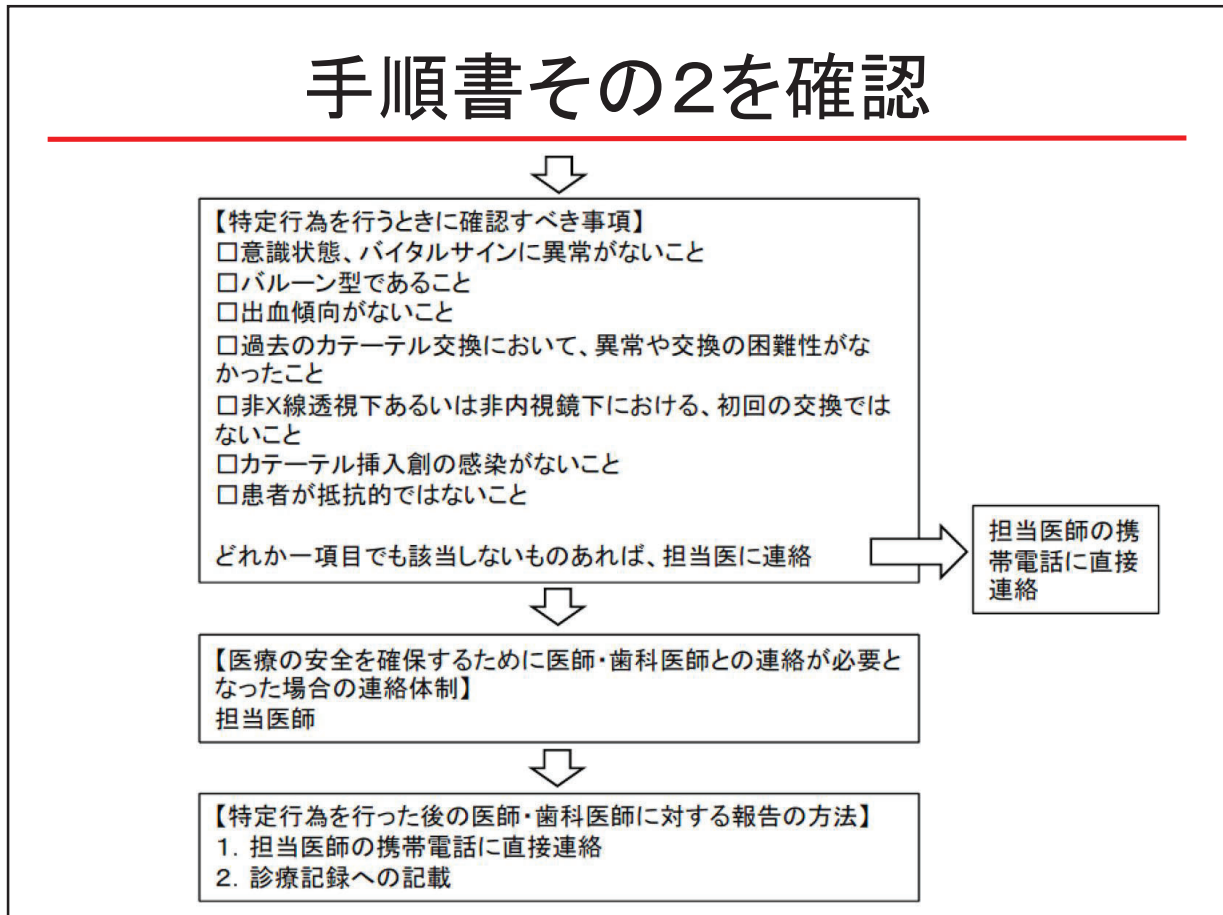


# 手順書その2を確認

## 手順書: 胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換(その2)



## 手順書その2を確認



## この講義のポイント

- 特定行為手順書のフローチャートに沿って、胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換について確認する。
- 胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換について、架空の症例に対する実技を通して学ぶ。

# 基本症例1

- 80歳男性
- 脳梗塞後の嚥下障害のため、胃ろう栄養を2年前から行っている
- 胃ろうボタンが、前回交換後2か月経過している

## 手順書その1を確認

手順書: 胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換(その1)

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】  
既に交換を最低1回済ませている患者で、  
・何らかの原因でカテーテルやボタンが抜けてしまった時  
・何らかの原因でカテーテルやボタンが破損したと思われる時  
・定期の交換の時期



【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】  
 意識、バイタルサイン、病状が平常時と変化がない。  
 瘻孔から出血していない。  
 胃瘻である(経食道瘻, 経小腸瘻でない)。  
 内部ストッパーがバルーン型である。  
 交換前のカテーテル/ボタンの可動性が良好である。  
 血圧のコントロールが良好であること  
 出血傾向がないこと

病状の  
範囲外

不安定  
緊急性あり



担当医師に直  
接連絡し指示  
をもらう

病状の  
範囲内



安定  
緊急性なし

## 特定行為を行う時に確認すべき事項

- 意識レベル、バイタルサインに問題はない
- 血圧コントロールは良好
- 出血傾向はない
- 胃ろうボタンに縦の余裕があり、回転がスムーズである

## 手順書その1を確認

手順書: 胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換(その1)

### 【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】

- 既に交換を最低1回済ませている患者で、
- ・何らかの原因でカテーテルやボタンが抜けてしまった時
  - ・何らかの原因でカテーテルやボタンが破損したと思われる時
  - ・定期の交換の時期



### 【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】

- 意識、バイタルサイン、病状が平常時と変化がない。
- 瘻孔から出血していない。
- 胃瘻である(経食道瘻, 経小腸瘻でない)。
- 内部ストッパーがバルーン型である。
- 交換前のカテーテル/ボタンの可動性が良好である。
- 血圧のコントロールが良好であること
- 出血傾向がないこと

病状の  
範囲外

不安定  
緊急性あり



担当医師に直  
接連絡し指示  
をもらう

病状の  
範囲内



安定  
緊急性なし

## 基本症例1

---

- 80歳男性
- 脳梗塞後の嚥下障害のため、胃ろう栄養を2年前から行っている
- 胃ろうボタンが、前回交換後2か月経過している
- Point: バルーン型胃ろうボタンの定期交換

**OSCE 1 :**  
**バルーン型胃ろうボタンの**  
**定期交換を行ってください**

## 解説

---

- 80歳男性
- 脳梗塞後の嚥下障害のため、胃ろう栄養を2年前から行っている
- 胃ろうボタンが、前回交換後2か月経過している
- Point:バルーン型胃ろうボタンの定期交換

## 基本症例2

---

- 65歳女性
- 筋萎縮性側索硬化症のため、胃ろう栄養を1年前から行っている
- 胃ろうカテーテルが、前回交換後3か月経過している

# 手順書その1を確認

手順書: 胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換(その1)

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】  
 既に交換を最低1回済ませている患者で、  
 ・何らかの原因でカテーテルやボタンが抜けてしまった時  
 ・何らかの原因でカテーテルやボタンが破損したと思われる時  
 ・**定期的交換の時期**



【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】  
 意識, バイタルサイン, 病状が平常時と変化がない.  
 瘻孔から出血していない.  
 胃瘻である(経食道瘻, 経小腸瘻でない).  
 内部ストッパーがバルーン型である.  
 交換前のカテーテル/ボタンの可動性が良好である.  
 血圧のコントロールが良好であること  
 出血傾向がないこと

病状の  
範囲外

不安定  
緊急性あり



担当医師に直  
接連絡し指示  
をもらう

病状の  
範囲内



安定  
緊急性なし

## 特定行為を行う時に確認すべき事項

- 意識レベル、バイタルサインに問題はない
- 血圧コントロールは良好
- 出血傾向はない
- 胃ろうカテーテルに縦の余裕があり、回転がスムーズである

## 手順書その1を確認

手順書: 胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換(その1)

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】

既に交換を最低1回済ませている患者で、  
 ・何らかの原因でカテーテルやボタンが抜けてしまった時  
 ・何らかの原因でカテーテルやボタンが破損したと思われる時  
 ・定期の交換の時期



【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】

意識, バイタルサイン, 病状が平常時と変化がない.  
 瘻孔から出血していない.  
 胃瘻である(経食道瘻, 経小腸瘻でない).  
 内部ストッパーがバルーン型である.  
 交換前のカテーテル/ボタンの可動性が良好である.  
 血圧のコントロールが良好であること  
 出血傾向がないこと

病状の  
範囲外

不安定  
緊急性あり



担当医師に直  
接連絡し指示  
をもらう

病状の  
範囲内



安定  
緊急性なし

## 基本症例2

- 65歳女性
- 筋萎縮性側索硬化症のため、胃ろう栄養を1年前から行っている
- 胃ろうカテーテルが、前回交換後3か月経過している
- Point:バルーン型胃ろうカテーテルの定期交換

# 手順書その1を確認

手順書: 胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換(その1)

**【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】**

- 既に交換を最低1回済ませている患者で、
- ・何らかの原因でカテーテルやボタンが抜けてしまった時
  - ・何らかの原因でカテーテルやボタンが破損したと思われる時
  - ・定期の交換の時期



**【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】**

- 意識, バイタルサイン, 病状が平常時と変化がない.
- 瘻孔から出血していない.
- 胃瘻である(経食道瘻, 経小腸瘻でない).
- 内部ストッパーがバルーン型である.
- 交換前のカテーテル/ボタンの可動性が良好である.
- 血圧のコントロールが良好であること
- 出血傾向がないこと

病状の  
範囲外

不安定  
緊急性あり



担当医師に直  
接連絡し指示  
をもらう

病状の  
範囲内



安定  
緊急性なし

**OSCE 2 :**  
**バルーン型胃ろうカテーテル**  
**の定期交換を行ってください**

## 解説

---

- 65歳女性
- 筋萎縮性側索硬化症のため、胃ろう栄養を1年前から行っている
- 胃ろうカテーテルが、前回交換後3か月経過している
- Point:バルーン型胃ろうカテーテルの定期交換

## まとめ

---

- 特定行為手順書のフローチャートに沿って、胃ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換について確認した。